

曾根次郎坂・太郎坂を越えるみち



起点	尾鷲市曾根（逢神橋バス停）
終点	熊野市新鹿（JR新鹿駅）
延長	8.2km
利用タイプ	B

沿線の風景

尾鷲市曾根から熊野へ抜ける山道へ入る。ここから、かつて伊勢と紀伊の国の境目であったといわれる甫母峠、別名曾根次郎坂太郎坂を越える。峠の登り口には、戦国時代の支配者曾根弾正の五輪塔や関所の跡など当時を偲ぶ遺跡が見られる。少し急な坂道を1時間ほど登ると、茶屋跡に出る。さらに山道を進むと、林間から僅かに賀田湾を眺めることができる。峠を越えると熊野市二木島に出る。二木島港の町中を歩くと、キリシタン灯籠と鯨供養塔があり、当時の生活を連想させる。一旦国道311号線へ出て、50mほど国道沿いに歩き、そこから二木島峠の道を歩く。林の中を進むと、途中から逢神峠となる。逢神峠は、その名のとおり古代に伊勢の神と熊野の神がここで出会ったとされる峠である。また、昔この周辺で狼がよく出たことから狼峠とも呼ばれている。一部石畳の残された古道を歩き峠道を下ると、白い砂浜と透明の海の新鹿に出る。海岸から山側へ上がって弁天滝への入口横を過ぎ、新鹿の美しい海を眼下に見ながら新鹿の駅へ到着する。

主な見どころ

曾根弾正五輪塔、曾根南関所跡、茶屋跡、猪垣、キリシタン灯籠、鯨供養塔、巡礼道標、石畳道、あたしか海水浴場など



凡 例	
▲案内標識	Ⓜ休憩所(四阿)
●指導標識	◊展望施設
■公衆トイレ	Ⓟ駐車場
〔利用タイプ〕	
Aタイプ 山地等でやや体力を要するコース	
Bタイプ 山地、丘陵地を通過するコースで一般向きのコース	
Cタイプ 全体がほぼ平坦なコースで小さな子供でも利用可能なコース	

